



不登校に関する実態調査の結果を公表

～不登校経験者・保護者等を対象とした調査で不登校の実態を把握～

区は、令和3年度から4年度にかけて実施した不登校に関する実態調査の結果を公表した。

この調査は、不登校の実態を把握し、これまでの区の不登校対策の効果の検証と、今後の安心な学校づくりに向けた、不登校児童生徒への支援の充実のために実施したもの。

不登校を経験した区立中学校卒業生に加えて、その保護者、学校・教員、フリースクール等、多様な関係者を対象に調査を行った。不登校経験者への追跡調査および多様な関係者への総合的な調査は、地方自治体の実施するものとしては、全国初（練馬区調べ）の実施となる。（文部科学省は、不登校当事者および保護者への調査を実施したことがある。）

調査の結果、不登校は学校生活に要因があると感じている生徒・保護者が多く、学校が捉える要因と差異があることや、進学や学習面での手助けを必要としていた生徒が多いこと、高校進学後に生活改善した生徒が8割おり、不登校経験が現在の生活満足度に否定的な影響を及ぼしているとは限らないことなどが分かった。

調査の結果を踏まえて、区は今後、不登校対策方針を見直し、不登校児童生徒への支援のさらなる充実を目指す。

【調査の特色】

- ・不登校経験者を過去5年間さかのぼって調査し、当時や現在の状況等を把握
- ・不登校経験者の回収率は約24%と、この種の調査としては非常に高い回収率（文部科学省「令和2年度不登校児童生徒の実態調査」では中学生の回収率は約8.2%）
- ・心の内面をより丁寧に深く探るため、インタビュー調査も実施
- ・多様な関係者に調査を行い、多角的な視点から実態を把握する試み
- ・調査の信頼性・有効性をより高めるため、学術研究者の協力を得て調査・分析を実施

【調査の概要】

調査名		対象者	回収数	回収率
(1) 不登校を経験した卒業生と保護者へのアンケート調査（一次調査）	本人	775 世帯	188 件	24.3%
	保護者		206 件	26.6%
(2) 不登校を経験した卒業生への追加アンケート調査（二次調査）		84 人	52 件	61.9%
(3) 不登校を経験した卒業生への追加インタビュー調査（二次調査）		25 人	25 件	—
(4) 区立小中学校・教員へのアンケート調査	学校管理職	98 校	98 校	100.0%
	教員	1,042 人	525 件	50.4%
(5) フリースクールへのアンケート調査	団体	20 団体	14 件	70.0%

【報告書の閲覧場所】

- ・区ホームページ
<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kosodatekyoiku/kyoiku/gakko/kyoikucenter/oshirase/hutoukoujittaityousa.html>
- ・区立図書館（南大泉図書館分室を除く）、区民情報ひろば 11月28日（月）から開始

【問合せ】練馬区 学校教育支援センター 研究相談係 電話 03-6385-9911